

令和6年（2024年）第9回定例会

枚方市教育委員会会議録

令和6年（2024年）9月20日

枚方市教育委員会

令和6年（2024年）第9回 枚方市教育委員会
定例会議案書

案 件 名		
日程 1	報告第42号	臨時代理事項の報告について (1) 職員の普通退職について
日程 2	報告第43号	臨時代理事項の報告について (1) 枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について
日程 3	報告第44号	臨時代理事項の報告について (1) 育児休業代替任期付職員の採用について
日程 4	報告第47号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）について
日程 5	報告第45号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 生徒指導について（令和6年3月26日報告分①）
日程 6	報告第46号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 生徒指導について（令和6年3月26日報告分②）

○開催日時 令和6年（2024年）9月20日 午前10時00分から
○開催場所 輝きプラザきらら3階 教育委員会室

報告第42号

臨時代理事項の報告について

標題の件について、次のとおり臨時代理処分をしたので教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第3項の規定により教育委員会に報告し、承認を求める。

令和6年（2024年）9月20日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の理由

特に緊急を要するため

2. 臨時代理事項

臨時代理第19号 職員の普通退職について

臨時代理第19号

職員の普通退職について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第2項の規定により臨時代理する。

令和6年（2024年）8月30日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の内容

令和6年（2024年）8月31日付け普通退職

所 属	職 ・ 氏 名
総合教育部 おいしい給食課 主任	技術職員 ・ 沼本 早織

報告第43号

臨時代理事項の報告について

標題の件について、次のとおり臨時代理処分をしたので教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第3項の規定により教育委員会に報告し、承認を求める。

令和6年（2024年）9月20日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の理由

特に緊急を要するため

2. 臨時代理事項

臨時代理第20号 枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について

臨時代理第 20 号

枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成 3 年枚方市教育委員会規則第 2 号）第 3 条第 2 項の規定により臨時代理する。

令和 6 年（2024 年） 9 月 5 日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の内容

枚方市学校いじめ対策審議会委員の任期満了に伴い、新たな委員を委嘱するもの。

2. 委嘱期間

令和6年（2024年）9月19日から令和8年（2026年）9月18日まで

3. 委嘱委員

次ページ「枚方市学校いじめ対策審議会 委員名簿」のとおり

枚方市学校いじめ対策審議会委員名簿

任期：令和6年(2024年)9月19日から令和8年(2026年)9月18日まで

選出区分	分野	氏名	所属	備考
学識経験を有する者	法律	うえだ すばる 植田 昂星	大阪弁護士会	1期目
	教育	おけたに まもる 桶谷 守	池坊短期大学	4期目
		すずき いさむ 鈴木 勇	大阪成蹊大学	1期目
福祉に関する専門的知識を有する者	福祉	つるぞえ まこと 水流添 真	大阪社会福祉士会	3期目
臨床心理に関する専門的知識を有する者	臨床心理	たちか あや 田近 文	大阪府臨床心理士会	1期目

報告第44号

臨時代理事項の報告について

標題の件について、次のとおり臨時代理処分をしたので教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第3項の規定により教育委員会に報告し、承認を求める。

令和6年（2024年）9月20日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の理由

特に緊急を要するため

2. 臨時代理事項

臨時代理第21号 育児休業代替任期付職員の採用について

臨時代理第 21 号

育児休業代替任期付職員の採用について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成 3 年枚方市教育委員会規則第 2 号）第 3 条第 2 項の規定により臨時代理する。

令和 6 年（2024 年） 9 月 6 日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 臨時代理の内容

令和6年（2024年）9月13日付け育児休業代替任期付職員の採用

所 属	職 氏 名
総合教育部 おいしい給食課	技術職員 ・ 柴崎 真子

報告第47号

委員会の会議に付した事項の報告について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第4条第1号の規定により、次のとおり教育委員会に報告する。

令和6年（2024年）9月20日

枚方市教育委員会
教育長職務代理者
委員 谷元 紀之

1. 報告事項

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）について

2. 内容

別紙1のとおり

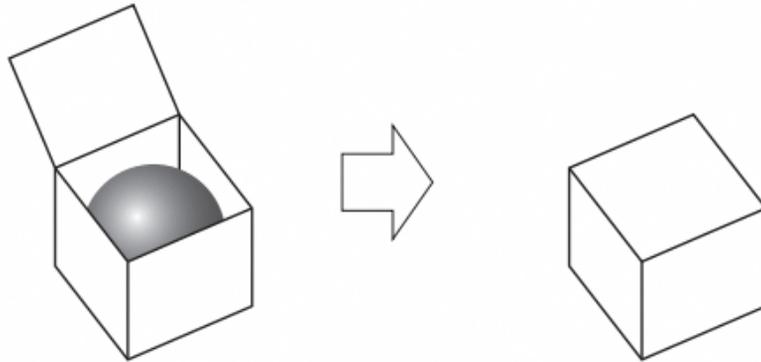


この問題解けるかな？
全国の小学生が
挑んだ問題（算数）です！

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

チャレンジしてみよう！
答えは最後のページに
あるよ



平均正答率

小学校	枚方市	大阪府	全国
国語	68	66	67.7
算数	64	63	63.4

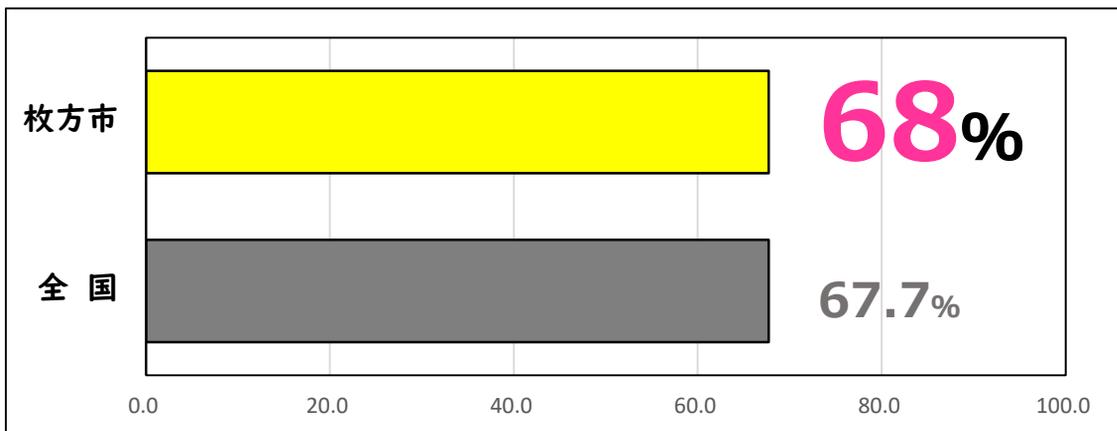
平均正答率

中学校	枚方市	大阪府	全国
国語	59	57	58.1
数学	53	51	52.5

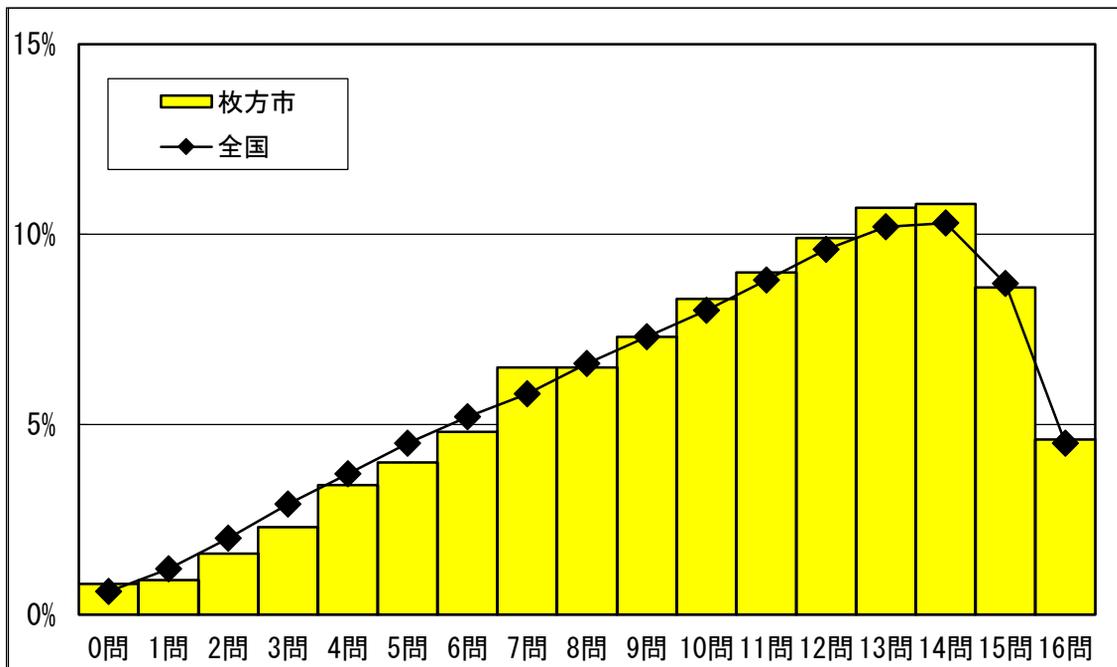
小学校、中学校ともに、
 国語は全国平均を上回っています。
 算数(数学)も全国平均を上回っています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 国語>

正答率



正答数分布

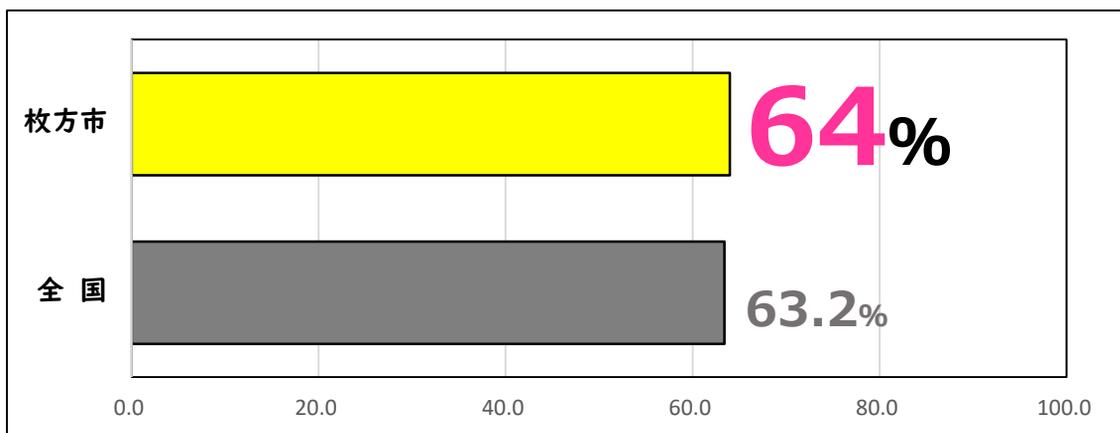


分類・区分別 集計結果

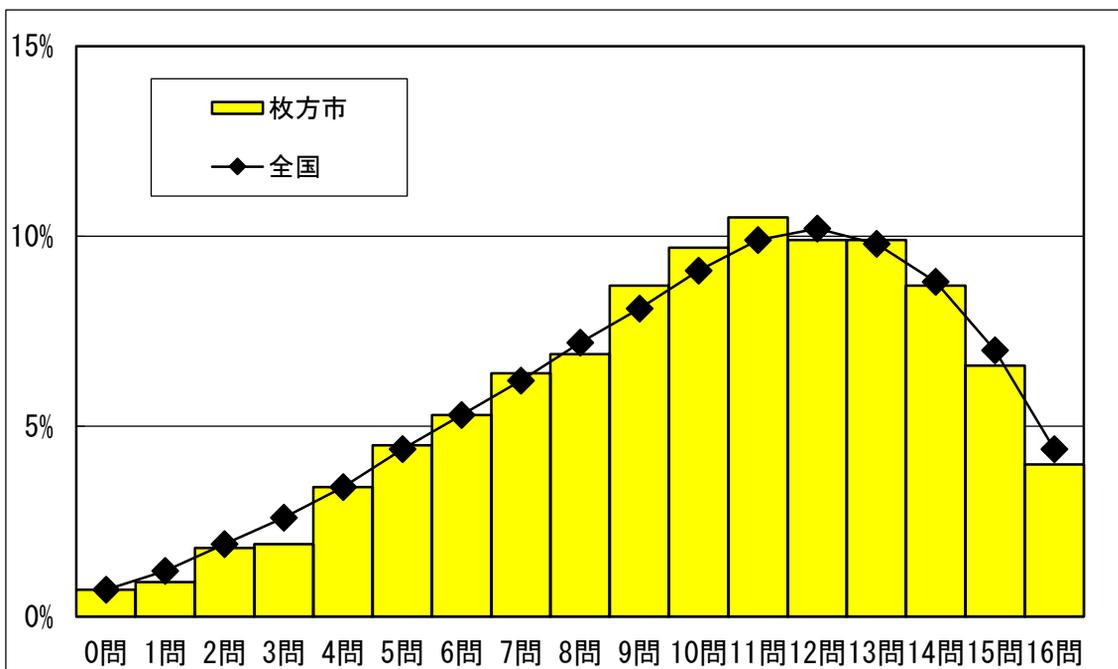
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			枚方市	全国(公立)	
全体			14	68	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	65.9	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	87.9	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	72.3	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	61.0	59.8
		B 書くこと	2	69.2	68.4
		C 読むこと	3	69.0	70.7
評価の観点	知識・技能	6	70.6	69.8	
	思考・判断・表現	8	66.0	66.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	10	70.3	69.9	
	短答式	2	61.5	59.7	
	記述式	2	62.8	64.6	

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 算数>

正答率



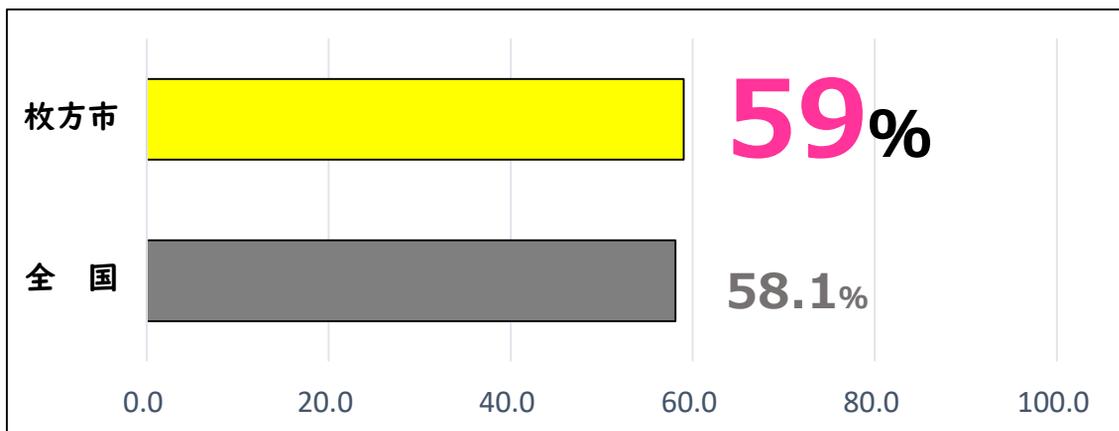
正答数分布



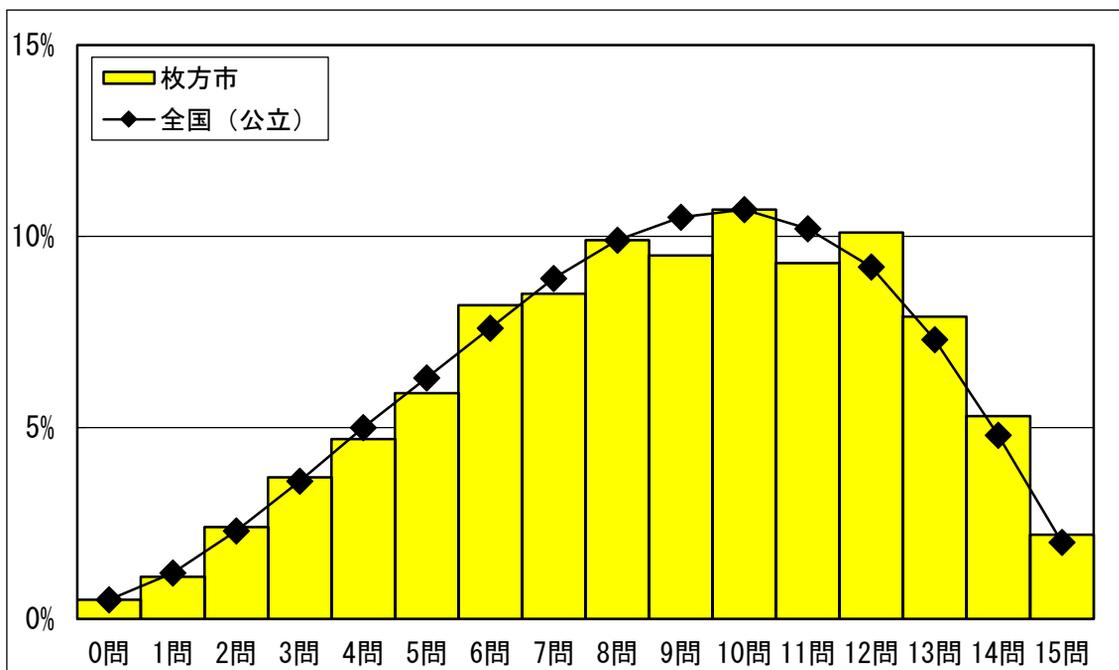
分類・区別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			枚方市	全国(公立)	
全体			16	64	63.4
学習指導要領 の領域	A 数と計算	6	67.4	66.0	
	B 図形	4	67.4	66.3	
	C 測定	0			
	C 変化と関係	3	52.5	51.7	
	D データの活用	4	62.1	61.8	
評価の観点	知識・技能	9	73.5	72.8	
	思考・判断・表現	7	52.7	51.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	76.5	75.3	
	短答式	7	62.6	62.0	
	記述式	4	52.3	51.0	

正答率



正答数分布

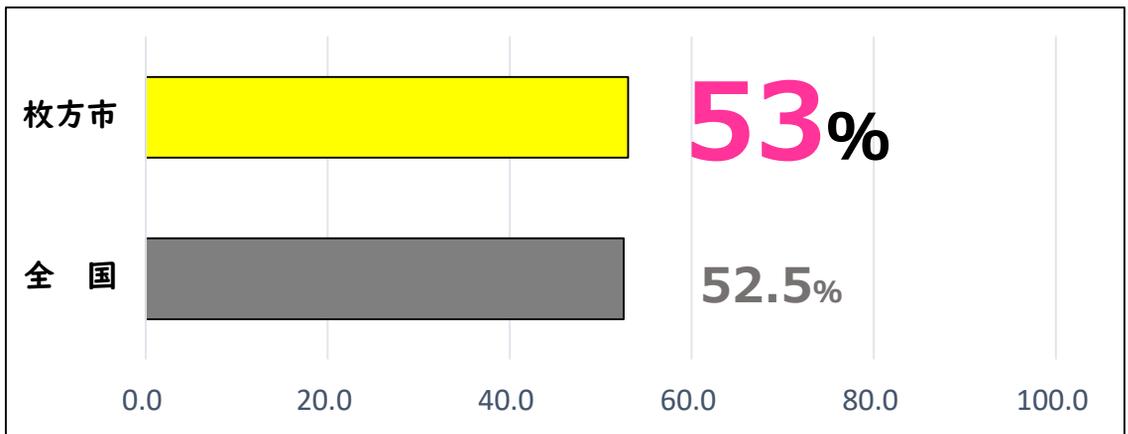


分類・区分別
集計結果

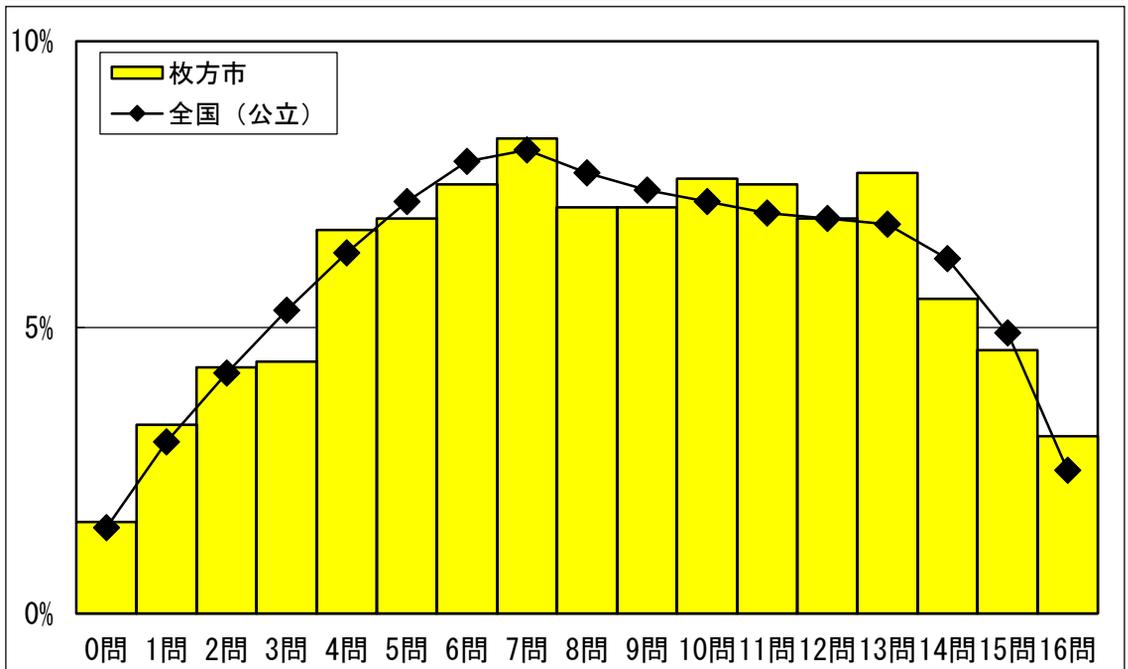
分類	区分	対象 問題数	平均正答率 (%)		
			枚方市	全国 (公立)	
全体			15	59	58.1
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	59.1	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	61.4	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	75.6	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	60.4	58.8
		B 書くこと	2	65.2	65.3
		C 読むこと	4	48.4	47.9
評価の観点	知識・技能	6	62.6	62.0	
	思考・判断・表現	9	56.1	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	61.2	61.0	
	短答式	3	64.2	61.8	
	記述式	3	45.6	45.5	

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 数学>

正答率



正答数分布



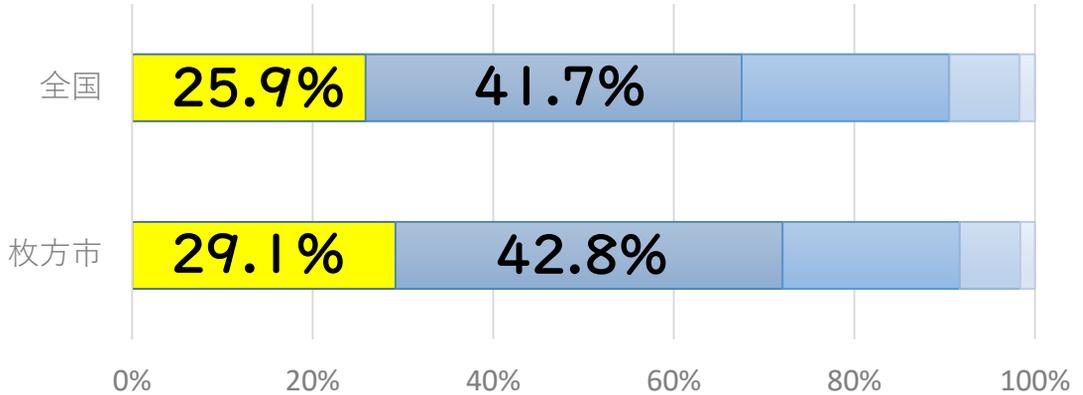
分類・区分別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国 (公立)
全体			53	52.5
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	50.6	51.1
	B 図形	3	40.8	40.3
	C 関数	4	59.8	60.7
	D データの活用	4	57.6	55.5
評価の観点	知識・技能	11	63.3	63.1
	思考・判断・表現	5	29.9	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	58.6	58.5
	短答式	6	67.1	67.0
	記述式	5	29.9	29.3

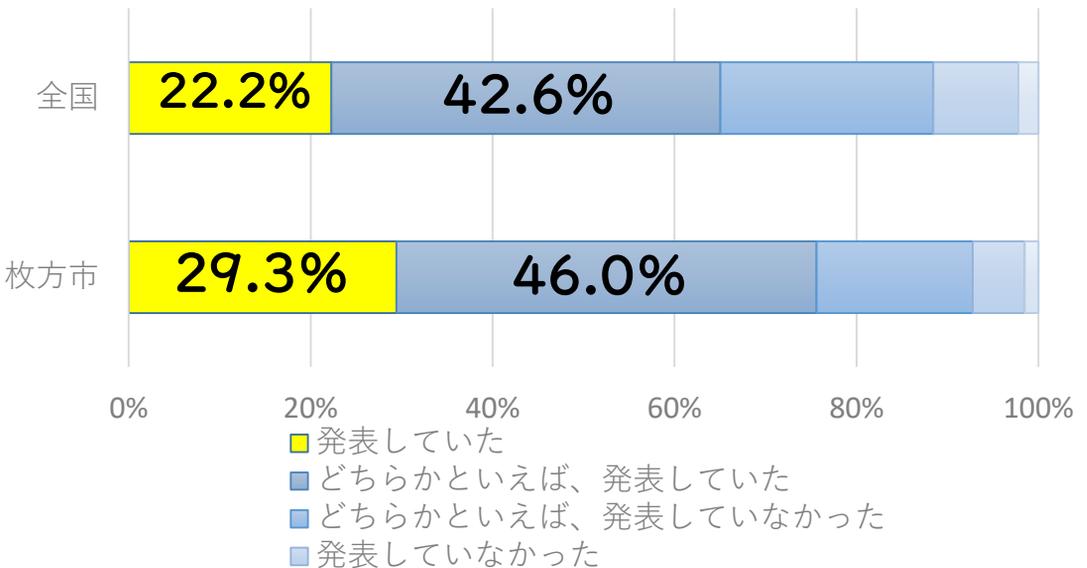
児童・生徒が授業で自ら工夫して発表している授業づくりが進んでいます

5年生（小学校）まで〔1、2年生（中学校）のとき〕に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（児童生徒質問紙）

小学校



中学校

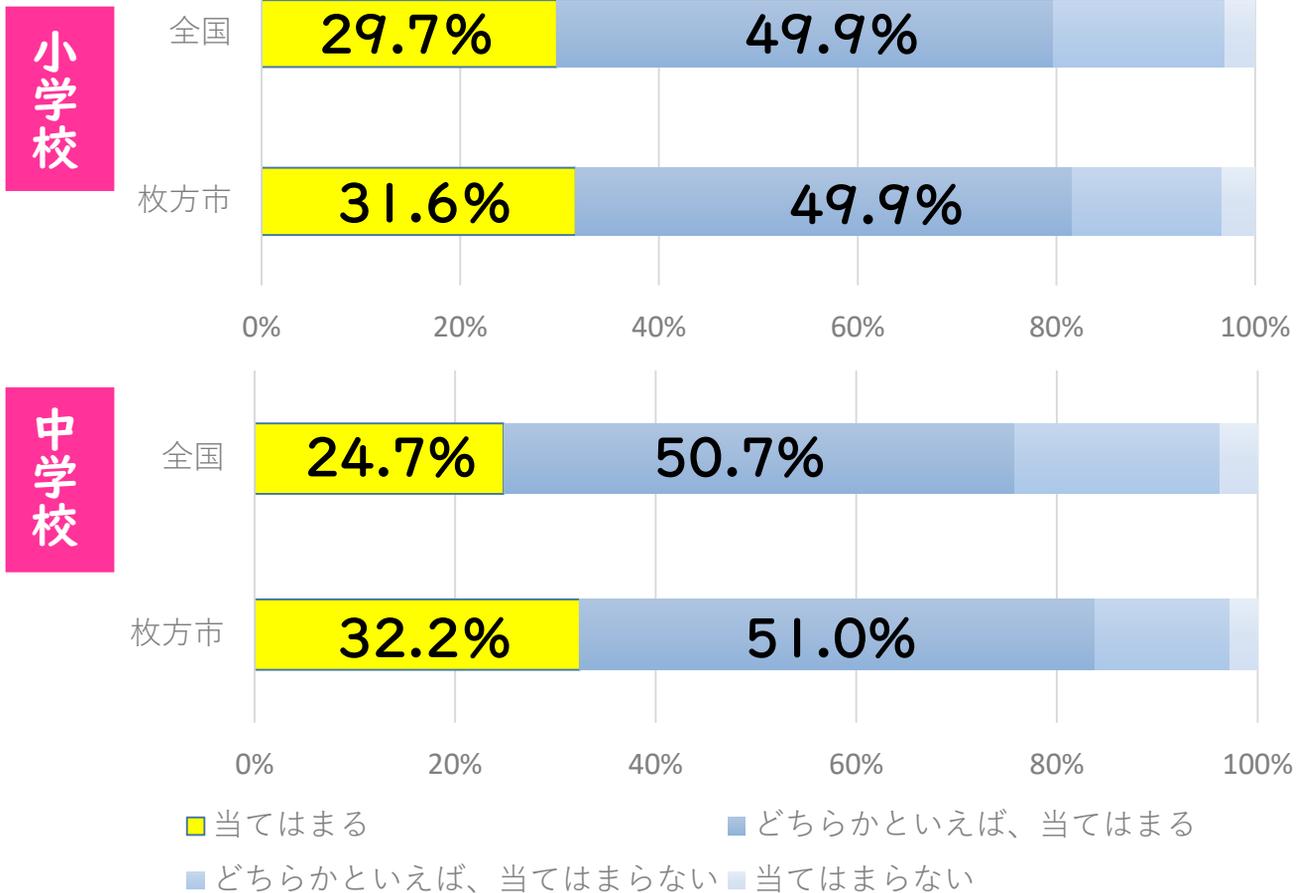


「発表していた」対全国との比較
 小学校+3.2P 中学校+7.1P
 全国を上回っています。

※本質問紙項目と学力調査との相関係数（枚方市）
 小学校 国語0.20 算数0.19 中学校 国語0.22 数学0.24
 文部科学省は0.2程度で相関があるとみています

児童・生徒が自ら学んだことを生かしながら考えをまとめる活動を行う授業づくりが進んでいます

5年生（小学校）まで〔1、2年生（中学校）のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか（児童生徒質問紙）



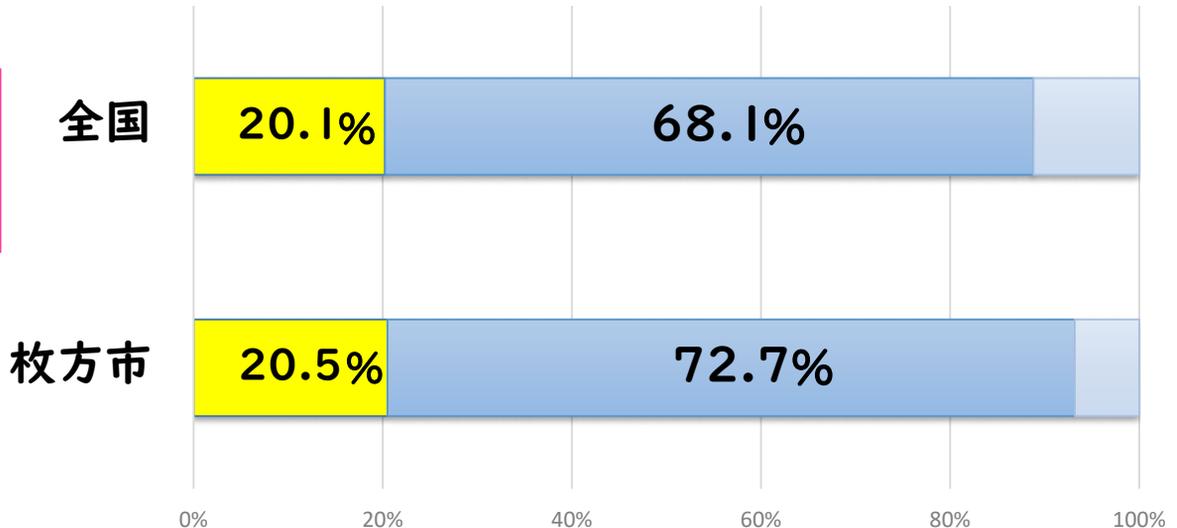
「当てはまる」対全国との比較
 小学校+1.9P 中学校+6.5P
 全国を上回っています。

※本質問紙項目と学力調査との相関係数（枚方市）
 中学校 国語0.21 数学0.22
 小学校からの積み重ねが中学校で成果を見せています

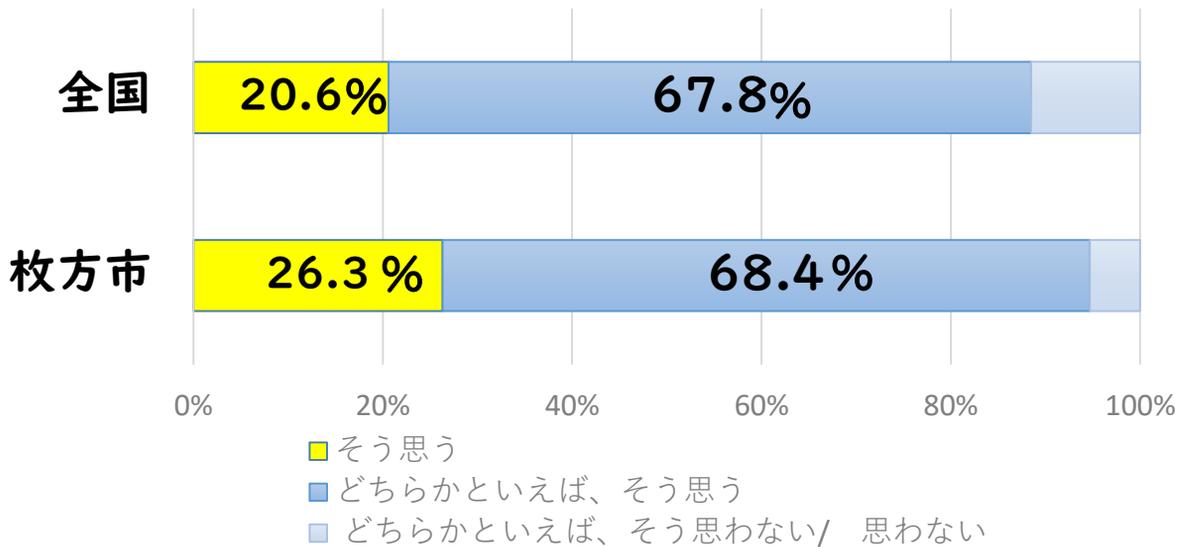
枚方市は子どもたちが自分の考えをしっかりと伝えられる場面を設定しています。

調査対象学年の児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか (学校の回答)

小学校



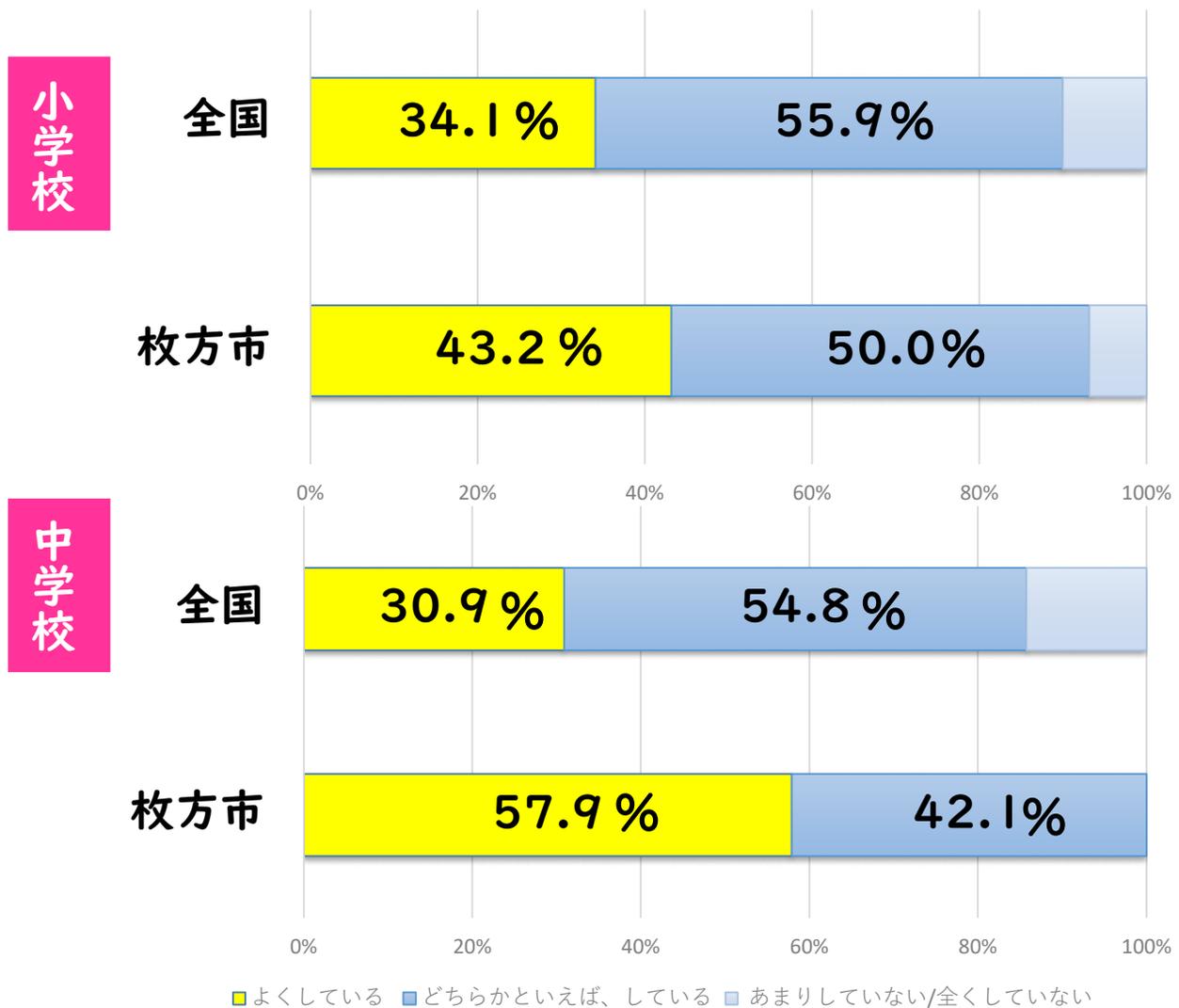
中学校



「そう思う」対全国との比較
 小学校 +0.4P
 中学校 +5.7P
 全国を大きく上回っています。

枚方市は研修の充実により授業の質を高める努力を続けています。

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか (学校の回答)



「よくしている」対全国との比較
 小学校 +9.1P
 中学校 +27.0P
 全国を大きく上回っています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<グラフの見方>

『個別最適な学び』について

[授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。]

- 当てはまる
(又は) どちらかといえば、当てはまる
- × どちらかといえば、当てはまらない
(又は) 当てはまらない

『協働的な学び』について

[授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか(新規)]

- 当てはまる
(又は) どちらかといえば、当てはまる
- × どちらかといえば、当てはまらない
(又は) 当てはまらない



児童生徒質問紙より

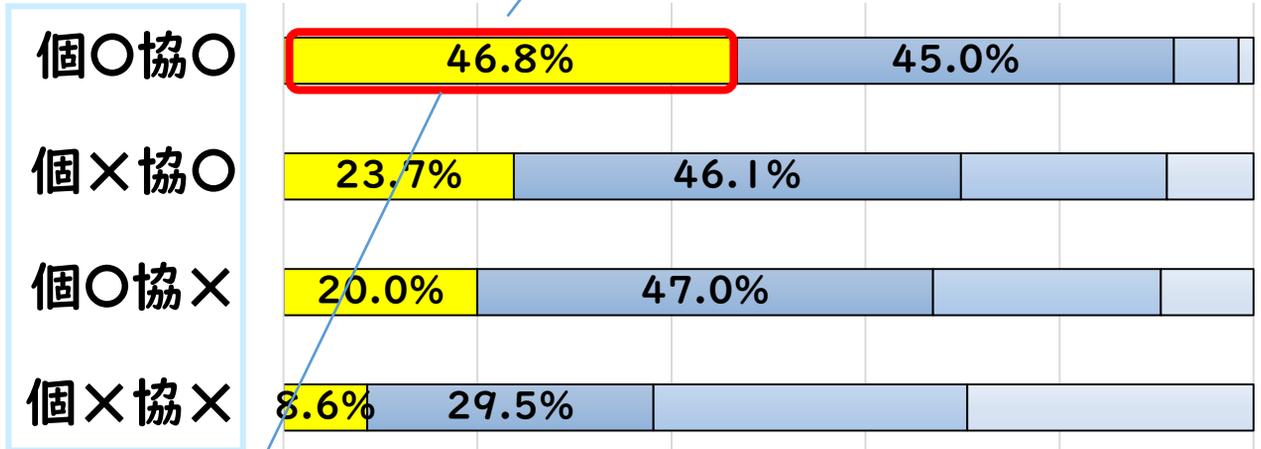
例

「個×協○」は、上記の部分を表しています。

[個別最適な学び]と[協働的な学び]

×

[国語の授業はよく分かる]



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
 □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

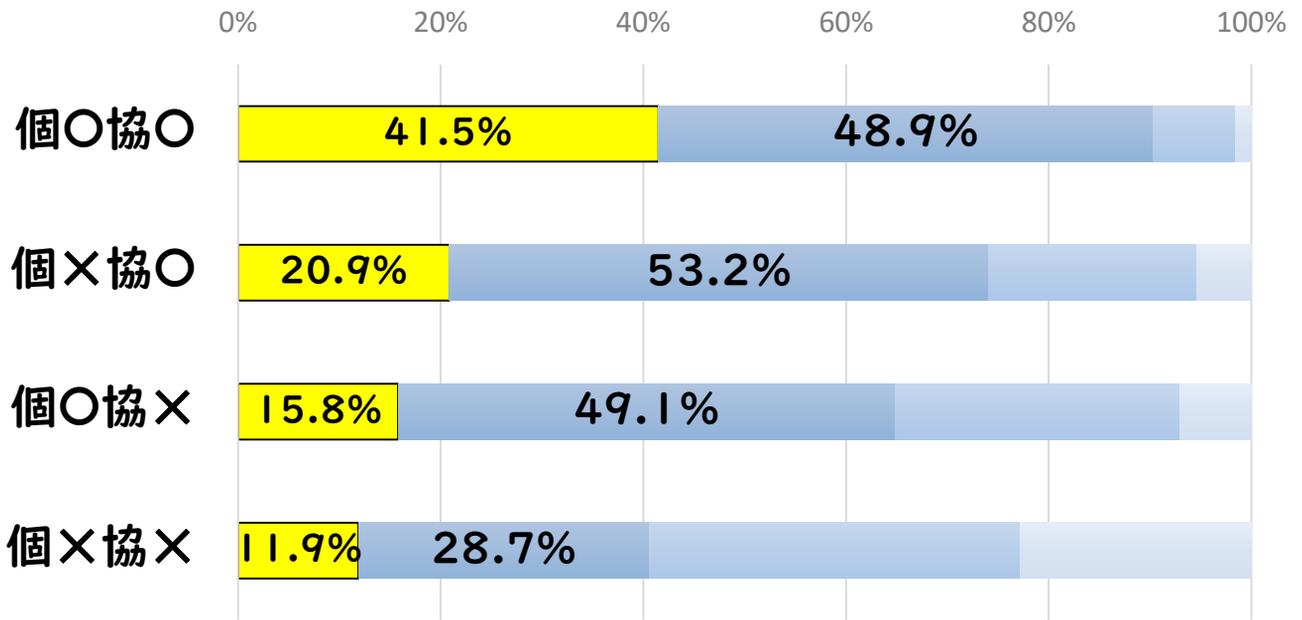
【見方】

赤い口で囲んだ部分は、『個別最適な学び』と『協働的な学び』について「当てはまる」と回答した児童・生徒のうち、『国語の授業についてはよくわかる』について『当てはまる』と回答した児童・生徒の割合を表しています。

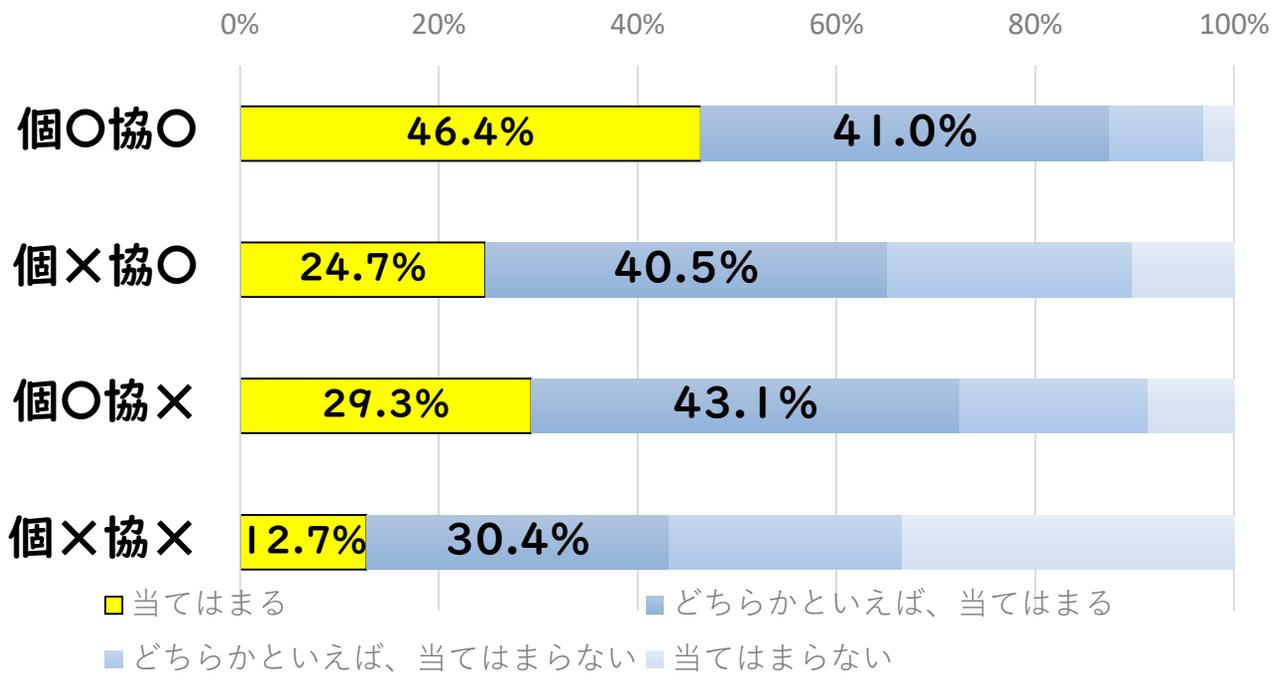


中学校

[個別最適]と[協働的]×[国語の授業はよく分かる]



[個別最適]と[協働的]×[数学の授業はよく分かる]



児童生徒質問調査について、個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだグループ(個○協○)が「授業の内容はよく分かる」と回答した割合が高かった。

[話合いで考えを深めたり新たな考えに気づいたりした]

×

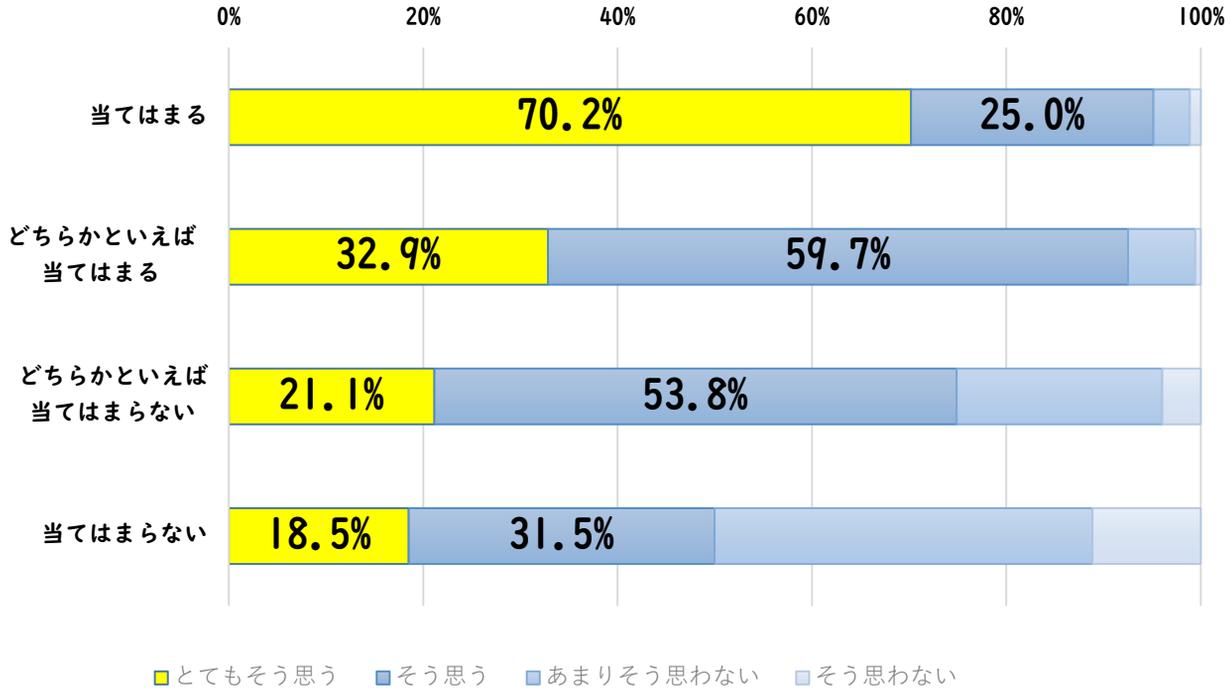
[ICT活用で友達と考えを共有・比較できる]

小学校 児童

中学校 生徒

ICT機器を活用することで、友達を考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか。

○ 自
い 学
分 級
た り の
り の 友
す の 達
る と
こ と の
が 深
め た
り 話
し 合
い 新
た な
考 え
方 に
気 づ
く



小学校・中学校ともに、同じ割合となっており、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒ほど、ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答している。

国立教育政策研究所の報告書において、
「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、そのような学習場面でのICT機器の活用頻度が高いと回答している。その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外の学校グループに比べて、各教科の正答率が高い。」ことが分析結果として掲載されています。

[よく分からなかった点等を見直し次の学習につなげた]

×

[ICT活用で自分のペースで学習]

ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると思いますか

小学校 児童

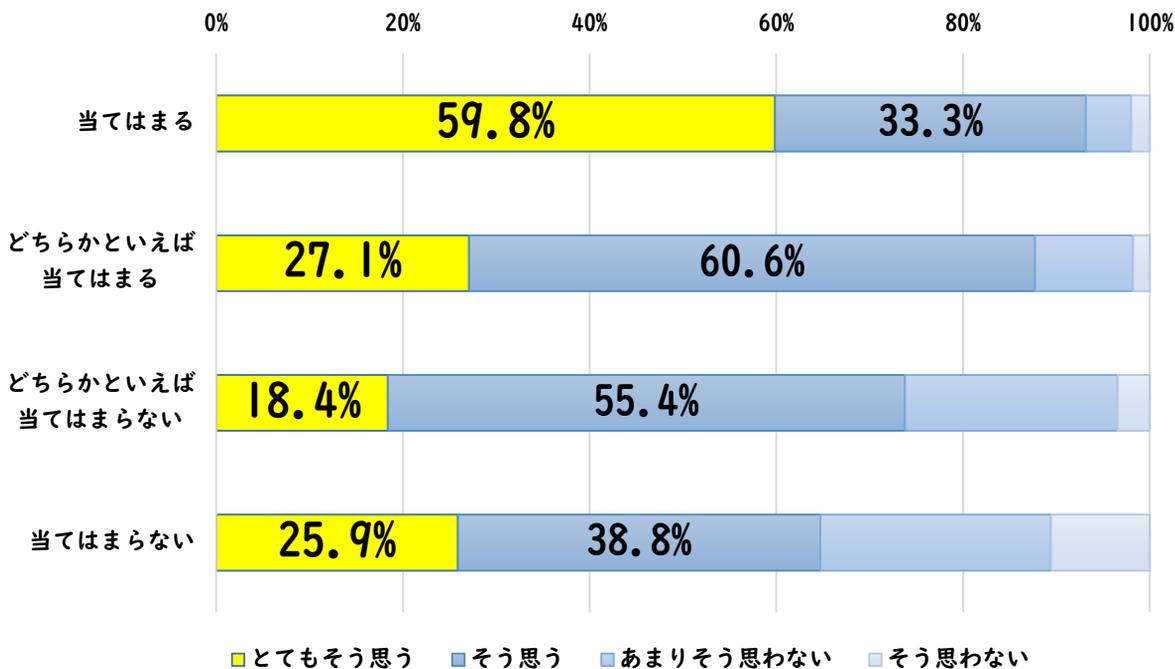
○ 次の学習につなげることができていますか。
 や、よく分からなかった点を見直し、学習した内容について、分かった点



中学校 生徒

ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると思いますか

○ 次の学習につなげることができていますか。
 や、よく分からなかった点を見直し、学習した内容について、分かった点



自分で学びを見直したり、次の学習に取り組む児童生徒ほど、ICT活用の効力に関して肯定的に回答しています。

[課題の解決に向けて自分から取り組んだ]

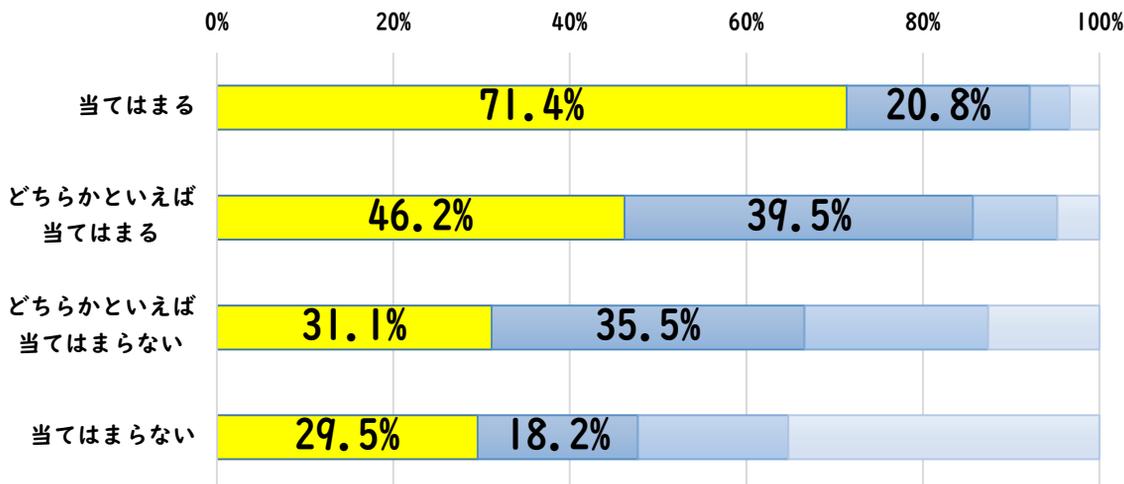
×

[自分にはよいところがあると思う]

小学校 児童

○組んで授業では、課題の解決に向けて自分で行ったか。

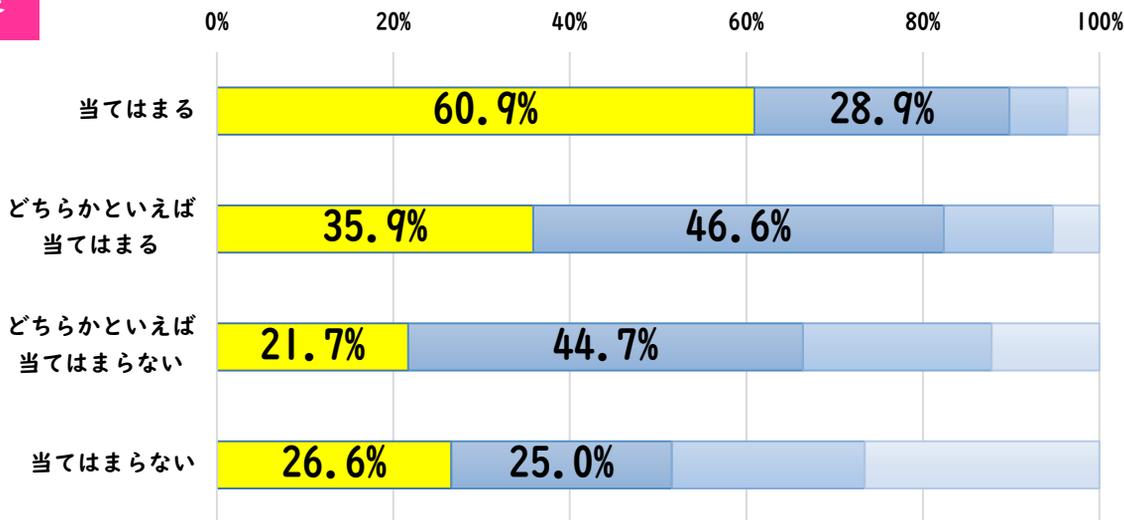
自分には、よいところがあると思いますか



中学校 生徒

○組んで授業では、課題の解決に向けて自分で行ったか。

自分には、よいところがあると思いますか



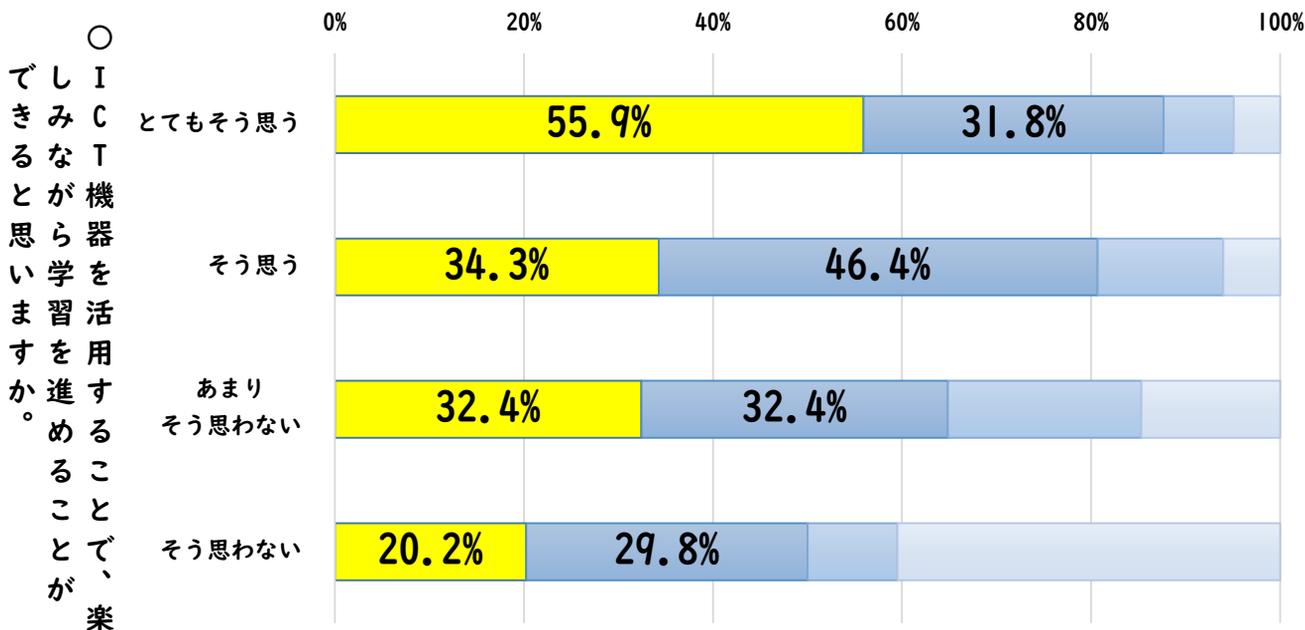
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

昨年度に続き、「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」に関する設問と「自分にはよいところがあると思う」に関する設問との間には相関が見られます。主体的・対話的で深い学びが、児童生徒の自己有用感等に良い影響を与えていると捉えています。

[ICT活用で楽しみながら学習] × [学校に行くのは楽しい]

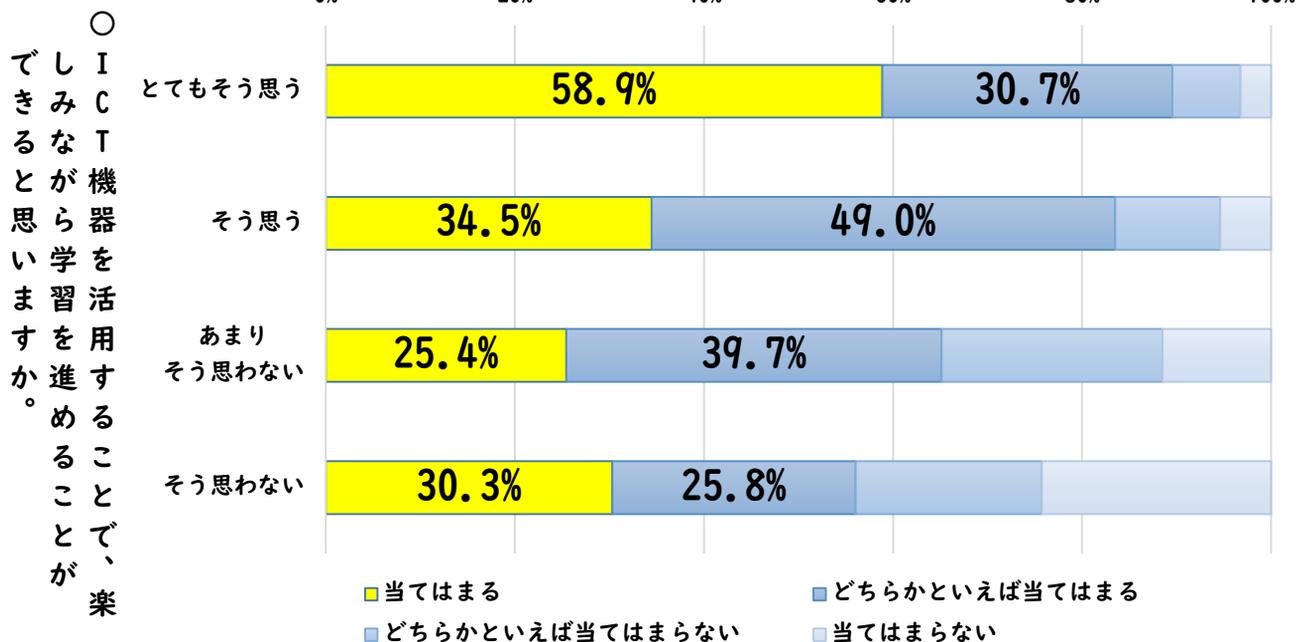
小学校 児童

学校に行くのは楽しいと思いますか



中学校 生徒

学校に行くのは楽しいと思いますか



ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答した児童・生徒ほど、挑戦心・自己有用感・幸福感等に関して肯定的に回答していると捉えています。

枚方市の小学校・中学校ともに、日ごろの授業を大切にしながら、子どもたちに身に付けたい力を着実につけていることがわかります。

国立教育政策研究所の報告書において、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、そのような学習場面でのICT機器の活用頻度が高いと回答している。その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外の学校グループに比べて、各教科の正答率が高い。」ことが分析結果として掲載されています。

枚方市もこの傾向が非常に高く示されております。引き続き子どもたちの学びを大切にしたい学習活動を進めてまいります。



《参考資料》

全国学力・学習状況調査：教育課程研究センター：国立教育政策研究所

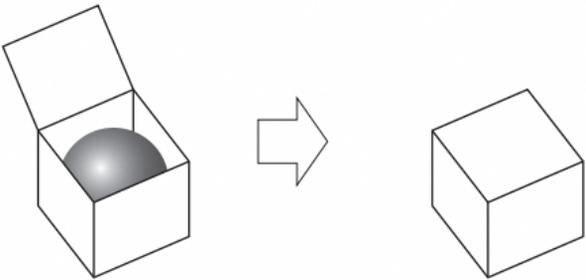
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

答え

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

答えは、 $22 \times 22 \times 22$

誤答例 ① 22×22 ② 22×3.14 を用いた式 ③ 22×6 など

誤答例の解説をするよ。

- ① 22×22 と解答している児童は、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉えることはできているけど立方体の一つの面の面積の求め方を式にしてしまったかな。
- ② 22×3.14 と解答している児童は、円の直径と円周率から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられるね。
- ③ 22×6 と解答した児童は、円の直径と立方体の面の数から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられるね。



身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにになるといいね。

教育委員会の活動状況（令和6年8月21日～9月13日分）

日時		会議・行事等	場所	出席者
8月21日	水	北河内地区指導主事研修会	ホテルアゴーラ大阪守口	岩谷副教育長
8月23日	金	令和6年度北河内地区教育長協議会研修会	交野市立保健福祉総合センター（ゆうゆうセンター）4階 交流ホール	谷元職務代理者 近藤・大中教育委員
8月23日	金	大阪府政に係る市町村の諸課題についての意見交換会	大阪府庁	岩谷副教育長
8月26日	月	第8回教育委員会定例会・協議会	輝きプラザきらら	谷元職務代理者 近藤・中西・大中教育委員
8月26日	月	第2回部活動の在り方懇話会	輝きプラザきらら	岩谷副教育長
8月27日	火	臨時校長会	輝きプラザきらら	岩谷副教育長
8月27日	火	決算審査意見書提出	枚方市役所	岩谷副教育長
8月29日	木	校長会	輝きプラザきらら	岩谷副教育長
9月2日	月	市長表敬（空手）	枚方市役所	岩谷副教育長
9月4日	水	枚方モール内覧会	枚方モール	中西教育委員
9月5日	木	教育政策会議	輝きプラザきらら	谷元職務代理者 近藤・中西・大中教育委員
9月5日	木	枚方市駅前行政サービスフロア開設記念式典	ステーションヒル枚方6階 市駅前行政サービスフロア	谷元職務代理者 近藤・中西・大中教育委員
9月5日	木	臨時校長会	オンライン会議	岩谷副教育長

日時		会議・行事等	場所	出席者
9月6日	金	令和6年度北河内地区教育長協議会研修会	オンライン会議	谷元職務代理人 近藤・中西教育委員
9月10日	火	英語プレゼンテーション大会	関西外国語大学	岩谷副教育長
9月13日	金	令和6年度市町村教育委員会研究協議会	大阪国際会議場	谷元職務代理人 近藤・大中教育委員

令和6年第9回 枚方市教育委員会定例会 会議録					
開会	令和6年9月20日午前10時00分		閉会	令和6年9月20日午前10時43分	
休憩	なし				
日程	議案番号	案 件			結果
1	報告第42号	臨時代理事項の報告について (1) 職員の普通退職について			承認
2	報告第43号	臨時代理事項の報告について (1) 枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について			承認
3	報告第44号	臨時代理事項の報告について (1) 育児休業代替任期付職員の採用について			承認
4	報告第47号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)について			聴取
5	報告第45号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 生徒指導について(令和6年3月26日報告分①)			聴取
6	報告第46号	委員会の会議に付した事項の報告について (1) 生徒指導について(令和6年3月26日報告分②)			聴取
構成員	教 育 長 職 務 代 理 者	谷 元 紀 之	構成員	教 育 委 員	中 西 悠 子
	教 育 委 員	近 藤 孝		教 育 委 員	大 中 智 恵
説明員	副 教 育 長	岩 谷 誠	説明員	教 育 政 策 課 長	笠 井 二 朗
	総 合 教 育 部 長	今 市 将 和		児 童 生 徒 課 長	倉 田 仁 司
	学 校 教 育 部 長	新 保 喜 和		教 育 指 導 課 長	吉 川 茂 樹
	総 合 教 育 部 次 長	大 西 佳 則		学 校 支 援 課 主 幹 (教育支援専門官)	木 村 聡
	学 校 教 育 部 次 長	河 田 典 子		児 童 生 徒 課 主 幹	中 口 恵 未 子
	学 校 教 育 部 副 参 事 (学校総合支援担当)	中 野 雅 央	記 録	教 育 政 策 課 係 長	佐 藤 喬 史
			傍聴の人数	1人	

○谷元職務代理者 開会に先立ち、委員の出席状況について報告を求めます。

今市総合教育部長。

○今市総合教育部長 委員の出席状況について報告します。本日は委員4名が出席しております。

以上、報告を終わります。

○谷元職務代理者 報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年第9回枚方市教育委員会定例会を開会いたします。

次に、本定例会の会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定により、職務代理者において近藤委員を指名いたします。

○谷元職務代理者 それでは、日程に入る前に教育委員会の活動状況について報告します。

前回、定例会で報告した以降の委員の活動状況については、お手元の資料のとおりです。

今回は、大中委員から8月23日に出席した令和6年度北河内地区教育長協議会研修会について。私からは9月13日に出席した令和6年度市町村教育委員会研究協議会について、それぞれご報告いたします。

では、大中委員からお願いいたします。

○大中委員

8月23日に行われた「令和6年度北河内地区教育長協議会研修会」に参加してまいりましたので、ご報告いたします。

テーマは「不登校の子どもの実態と支援、不登校要因調査の結果から」と題しまして、公益社団法人子どもの発達科学研究所の主任研究員、大須賀優子氏のご講演でした。子どもの発達科学研究所は、文科省委託事業として令和5年度不登校の要因分析に関する調査研究を実施されました。今回はこの調査から得られた科学的に分析された結果とその評価から導き出される不登校支援、また学校風土に着目した対策について所感を述べさせていただきます。

今回の調査では、教師、不登校児童・生徒本人、保護者の回答を比較すること、また不登校でない児童・生徒に対する教師と児童・生徒本人の回答を比較することで不登校の関連要因を比較し、統計的な関連や有意差を明らかにしたものです。この結果から、学業の不振、宿題の提出については三者の回答割合が比較的近く、教師が把握可能であることが示唆されました。一方、いじめ被害、教職員への反抗・反発、教職員からの叱責については、教師と児童・生徒、保護者の回答割合に違いが見られました。また、体調不良・不安・抑鬱・生活リズム不調については、児童・生徒や保護者は約7割が回答しているのに対し教師の回答割合は2割弱と低く、これらについて教師による把握は困難であり限界があることを私たちも認識しなくてはなりません。

不登校支援としては4つに分類されます。一つは、いじめ被害及び友達とのトラブルの予防です。友人関係の問題は不登校リスクを高める要因と考えられ、このようなトラブルが起きにくい集団づくり、対人スキルを学ぶ機会の提供が重要ということです。2つ目には、教師の行動、学校風土の改善です。教師の態度や指導方法、学校の決まりが不登校と関連していることから、これらで形づくられる学校風土の向上が必要であると考えられます。3つ目には、授業改善、学習支援の充実です。不登校児童・生徒回答では授業が分からないが47%、成績が下がったが、

37.9%、宿題ができないが 50%と高く、加えて不登校でない児童・生徒についても、成績が下がったと感じている児童・生徒が多く、授業改善や授業支援の充実が不可欠であると言えます。

4つ目には、児童・生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目です。先ほども申し上げたとおり、これらの不調の把握は教師には難しい可能性があり、デジタル端末の活用など不調に早期に気づく仕組みが必要であるとのこと。本市でも心の視覚化やSNS相談もできるアプリ「ぼーち」を導入しています。この仕組みを活用する教師の知識と支援体制が伴わなければならないことは言うまでもありません。

ただいま挙げた1つ目から3つ目の項目については不登校が起こってからの対策ではなく、全ての子どもを対象とした予防的な支援と言えます。この3つは全て学校風土に密接に関係するものです。学校風土の向上は子どもの発達リスクを予防し、学力向上に寄与することが知られています。「学校風土」とは、児童・生徒の学習環境の状態や質を意味するものです。これは教師と児童・生徒の学校生活での経験パターンから来るもので、共有する価値観、目標、信念、人間関係、物理的環境等によってつくられ、維持されるものと言えます。しかし今回の調査で明らかになったように児童・生徒が感じる学校風土と、教師が感じる学校風土が違っているという現実があります。よって児童・生徒が評価する学校風土を科学的に正しく計測し、児童・生徒とその家族、教職員、地域が一緒になって考える必要があります。

これまでの教師の経験則による評価ではなく、科学的な視点を持って学校風土を把握するツールとしての学校風土調査の紹介もありました。学校風土という目に見えないものを科学的に正確に把握することで、その向上に生かす取り組みは大変興味深いものでした。本市でも様々な不登校支援を実施しているところですが、発達支持的生徒指導の推進、校内教育支援ルームの充実などを通して学校風土の向上へより一層、取り組みを進めていく必要があると思いました。

以上です。

○谷元職務代理者 はい、ありがとうございました。

では私からですが、9月13日、大阪国際会議場で「令和6年度市町村教育委員会研究協議会」が開催されました。今年度の研究協議会は前期3回、後期3回に分かれてオンラインや対面での開催が実施されています。9月13日は前期の3回目として、全国から約150名の教育長や教育委員が対面で参加しました。

初めに行政説明があり、その後3つの分科会に分かれて研究協議、グループでの意見交流が行われました。行政説明では、文部科学省から「初等・中等教育施策の動向について」と題し、地方教育行政の充実、教師を取り巻く環境整備、GIGAスクール構想の推進、不登校児童・生徒への支援、いじめ対策、授業改善、特別支援教育の6点について説明がありました。

令和の日本型学校教育を推進する地方教育行政の具体的な方策として、教育委員会の機能強化と活性化が重要であり、教育委員会会議の事前説明会や勉強会の開催、教育委員提案に基づく課題設定など教育委員会会議の活性化が重要であること、また働き方改革を含む教師を取り巻く環境整備については総合教育会議を開催して、首長と連携して新しい施策につなげること、教育委員会事務局に専門家を配置し、組織改編等を通じた教育委員会事務局と関係部局の連携の実現、いじめ・重大事態が発生した際の緊急的な総合教育会議の開催を含めた対応訓練の実施、とより

具現化を望む方策の提案がありました。

研究分科会では、①教育委員会の機能強化、活性化について、②不登校対策といじめ対策について、③学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について、3つの分科会に分かれ研究協議、意見交流が行われました。私は教育委員会の機能強化、活性化についての分科会に参加しました。グループ協議、意見交流では、東京都北区の教育委員、滋賀県大津市の教育委員、奈良県奈良市の教育委員の方からそれぞれ取り組みの背景、問題意識、取り組み内容、取り組みの効果、今後の課題について報告があり、意見交流しました。

印象に残ったのは、自治体の中に教育委員会会議、いわゆる教育委員会定例会の事前説明会の時間が自治体によって2時間と決められていて、質問や意見を述べる時間が少ないという課題が他の自治体にあったことです。枚方市では、教育政策会議が毎月、月初めに開催され事前の説明や議案について質問や意見を述べ、協議が行われています。また教育委員会協議会の案件についても説明や質問を行っていますが、自治体によっては先ほど述べましたように時間が2時間と決められており短時間で終わっているという印象でした。分科会全体のまとめの報告では毎週1回事前の説明会があり、しっかり議論されているという自治体もありました。学校訪問についても他の自治体では訪問回数が少ない印象を受けました。これからも教育委員会の機能強化、活性化を図るためには教育委員会が何をすべきか、何ができるかの議論を活発にし続けるとともに学校訪問や様々な研修の機会等を通じて、教育委員会と事務局が一体となって取り組みを進めていくことが重要であるとの認識を再確認できた研究協議会となりました。以上です。

委員の活動報告については以上です。

それでは、日程1、報告第42号「臨時代理事項の報告について（1）職員の普通退職について」を議題とします。説明を求めます。

今市総合教育部長。

○今市総合教育部長 ただいま上程いただきました報告第42号「臨時代理事項の報告について」、ご説明申し上げます。

議案書5ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、教育委員会の権限に属する事務について、特に緊急を要すると認められましたため教育長職務代理者から事務委任を受けた副教育長が臨時代理したもので、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第3項の規定により教育委員会にご報告し、ご承認をお願いするものでございます。

議案書の6ページをご覧ください。

報告は、ページ中ほどの「2、臨時代理事項」に記載のとおりでございます。

議案書の7ページをご覧ください。

臨時代理第19号「職員の普通退職」について、ご説明いたします。本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第2項の規定により、令和6年8月30日付で、教育長職務代理者から事務委任を受けた副教育長が臨時代理したものでございます。

議案書8ページをご覧ください。

「1、臨時代理の内容」でございますが、表に記載の職員から退職願が提出されましたので、

これを承認したものでございます。

以上、簡単ではございますが、臨時代理第 19 号の説明とさせていただきます。

以上、報告第 42 号「臨時代理事項の報告について」、よろしくご審議の上、ご承認いただきますよう、お願いいたします。

○谷元職務代理人 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。これから報告第 42 号について採決します。

本件は承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○谷元職務代理人 はい。ご異議なしと認めます。よって本件は承認することに決しました。

それでは日程 2、報告第 43 号「臨時代理事項の報告について (1) 枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について」を議題とします。説明を求めます。

新保学校教育部長。

○新保学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第 43 号「臨時代理事項の報告について」、ご説明をいたします。

議案書、9 ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、教育委員会の権限に属する事務といたしまして、特に緊急を要すると認められましたため教育長職務代理人から事務委任を受けた副教育長が臨時代理したもので、教育長に委任する事務等に関する規則第 3 条第 3 項の規定により教育委員会にご報告し、ご承認をお願いするものでございます。

議案書、10 ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、ページ中ほどの臨時代理第 20 号でございます。

11 ページをご覧ください。

臨時代理第 20 号「枚方市学校いじめ対策審議会委員の委嘱について」、ご説明いたします。本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第 3 条第 2 項の規定により、令和 6 年 9 月 5 日付で教育長職務代理人から事務委任を受けた副教育長が臨時代理したものでございます。

12 ページをご覧ください。

いじめ防止等の対策を実効的に行うための調査審議を行う「枚方市学校いじめ対策審議会」については教育委員会の附属機関として設置していますが、現在委嘱しております委員の委嘱期間が令和 6 年 9 月 18 日に満了となるため、令和 6 年 9 月 19 日から令和 8 年 9 月 18 日までの 2 年間に委嘱期間として新たに委員を委嘱するものです。

委嘱する委員につきまして、13 ページをご覧ください。

委嘱する委員は学識経験を有する者として法律の分野より、植田昴星氏。同じく学識経験を有する者として教育の分野より、桶谷守氏及び鈴木勇氏。福祉に関する専門的知識を有する者として、水流添真氏。臨床心理に関する専門知識を有する者として、田近文氏の 5 名です。5 名のうち、桶谷委員と、水流添委員につきましては、前回より引き続いて委嘱を行うものでございます。

以上、臨時代理第 20 号の説明とさせていただきます。

報告第 43 号「臨時代理事項の報告について」、よろしくご審議の上、ご承認いただきますよ

う、お願いいたします。

○谷元職務代理者 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。これから報告第 43 号について採決します。

本件は承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○谷元職務代理者 はい。ご異議なしと認めます。よって本件は承認することに決しました。

それでは、日程 3、報告第 44 号「臨時代理事項の報告について (1) 育児休業代替任期付職員の採用について」を議題とします。説明を求めます。

今市総合教育部長。

○今市総合教育部長 ただいま上程いただきました、報告第 44 号「臨時代理事項の報告について」、ご説明申し上げます。

議案書 14 ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、教育委員会の権限に属する事務について、特に緊急を要すると認められましたため教育長職務代理者から事務委任を受けた、副教育長が臨時代理したもので教育長に委任する事務等に関する規則第 3 条第 3 項の規定により教育委員会にご報告し、ご承認をお願いするものでございます。

議案書 15 ページをご覧ください。

報告いたしますのは、ページ中ほどの「2、臨時代理事項」に記載のとおりでございます。

議案書の 16 ページをご覧ください。

臨時代理第 21 号「育児休業代替任期付職員の採用」について、ご説明いたします。本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第 3 条第 2 項の規定により、令和 6 年 9 月 6 日付で教育長職務代理者から事務委任を受けた副教育長が臨時代理したものでございます。

議案書 17 ページをご覧ください。

「1、臨時代理の内容」でございますが、表に記載の職員を令和 6 年 9 月 13 日付で育児休業代替の任期付職員として新規採用したものでございます。

以上、簡単ではございますが、臨時代理第 21 号の説明とさせていただきます。

以上、報告第 44 号「臨時代理事項の報告について」、よろしくご審議の上、ご承認いただきますよう、お願いいたします。

○谷元職務代理者 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。これから報告第 44 号について採決します。

本件は承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○谷元職務代理者 ご異議なしと認めます。よって、本件は承認することに決しました。

それでは、日程 4、報告第 47 号「委員会の会議に付した事項の報告について (1) 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果 (概要) について」を議題とします。説明を求めます。

新保学校教育部長。

○新保学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第 47 号「委員会の会議に付した事項の報

告について」、ご説明いたします。

議案書 18 ページをご覧ください。

本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第 4 条第 1 号の規定により教育委員会に報告するものでございます。

議案書 19 ページをご覧ください。

ご報告いたしますのは、本年 4 月 18 日に実施しました「令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果概要について」、内容につきましては、別紙 1 にてご説明いたします。

別紙 1 をご覧ください。

今年度についても、閲覧される媒体がスマートフォンかタブレットであることを想定したコンセプトで作成いたしました。またサイトをご覧になられた方が最後まで見ていただけるような工夫、枚方市のアピールポイント、質問紙調査のクロス集計から、枚方市のめざす授業づくりの方向性などを示しております。

1 ページは、読んでいただく方に少しでも興味をもって最後まで見ていただくために今年度の問題の一部を掲載し、調査問題がどのようなものかをお示ししております。

2 ページからは、枚方市の結果を掲載しております。小学校・中学校とも国語、算数・数学において全国平均を上回っている結果となりました。

3 ページからの各教科の設問でいきますと、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学いずれの問題においても正答率が全国平均水準または全国平均を上回る結果となりました。

7 ページをご覧ください。

ここからは、質問紙調査から成果が見られた項目について取り上げ、枚方市の取り組みの成果として端的に分かりやすく紹介しております。順に紹介していきますと、7 ページは「児童・生徒が授業において自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組立てを工夫して発表している」。

8 ページをご覧ください。

「児童・生徒が各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」。

9 ページをご覧ください。

「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができる」。

10 ページをご覧ください。

「枚方市は研修の充実により授業の質を高める努力を続けています」と記載しております。

11 ページをご覧ください。

ここからは、質問紙調査のクロス集計による分析について取り上げ、枚方市のめざす授業づくりの方向性について紹介しております。「クロス集計」とは、アンケート結果などのデータを集計するときに 2 つ以上の観点でまとめる統計手法のことでございます。

12 から 13 ページでは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」について肯定的に回答している児童・生徒のうち、教科、国語・算数、数学のことですが、についての理解「よく分かる」と

いう項目の肯定的回答のクロス集計となっております。この結果からも、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が各教科の理解へつながることが言えると考えられます。

15 ページをご覧ください。

「話し合いで考えを深めたり新たな考えに気づいたりした」、肯定的回答をした児童・生徒ほど「ICT活用で友達と考えを共有・比較できる」と回答し、ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答しております。

16 ページをご覧ください。

「よく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげた」に関する設問と「ICT活用で自分のペースで学習する」設問との間でも肯定的に回答しております。これは、自分で学びを見直したり、次の学習に取り組む児童・生徒ほどICT活用が効果的であると回答しております。自己調整や自立した学びの一助にICT活用は効果的であると考えられます。

17 ページをご覧ください。

「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」に関する設問と「自分にはよいところがあると思う」に関する設問の間には相関が見られます。主体的・対話的で深い学びが児童・生徒の自己有用感等により影響を与えていると捉えています。

18 ページをご覧ください。

「ICT活用で楽しみながら学習」に関する設問と、「学校に行くのは楽しい」に関する設問においても相関が見られ、ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答した児童・生徒ほど挑戦心・自己有用感・幸福感等に関して肯定的に回答していると捉えています。

19 ページには、まとめを掲載しております。

20 ページには、1 ページ目の問題の答えを載せています。以上が別紙1の内容となります。

今後の予定といたしまして、ただいまご覧いただきました別紙1「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」を枚方市ホームページに掲載する予定でございます。

以上、報告第47号の説明とさせていただきます。

○谷元職務代理者 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

大中委員。

○大中委員 ただいまの報告の中で、各教科の結果が全国平均を上回ったということですが、3ページ以降には各分類での平均正答率があります。そこでは、全国平均よりも下回っている項目もあるかと思いますが、教育委員会事務局としてどのように捉えていますか。

○谷元職務代理者 吉川教育指導課長。

○吉川教育指導課長 ご指摘いただきました事項について、お答えします。

確かに、細分化された分類ごとで下回るところもございますが、おおよそ1から2%以内の半範囲であることや、問題数も少ないことから誤差の範囲であると認識しております。しかし、学校ごとでは課題と捉えられる部分もあるかと思しますので、各学校の分析を確認の上、指導してまいります。

○谷元職務代理者 大中委員。

○大中委員 問題数が1、2問と少ない場合、このような誤差範囲の差が出やすいことは分かりま

した。しかし、中学生の数学においては、おっしゃるとおり、やや課題がある学校もあるのではないかと感じます。学校ごとのきめ細やかな指導をお願いいたします。

以上です。

○谷元職務代理人 ほかに質疑はございませんか。

中西委員。

○中西委員 枚方市全体として全国平均を上回っていることは、これまでの取り組みの成果でもある一方、全ての学校が全国平均を上回っているわけではないと思います。そういった学校に対し、教育委員会事務局としてどのようにサポートしていくお考えですか。

○谷元職務代理人 吉川教育指導課長。

○吉川教育指導課長 各学校における結果については、現在、学校ごとに分析した資料を作成し、保護者等へ周知するよう指示しております。教育委員会としましても、その分析結果を基に各学校の取り組みと授業参観等を踏まえて指導・助言をしております。

○谷元職務代理人 中西委員。

○中西委員 ありがとうございます。一人でも多く子どもたちに分かる喜びを与えられるような、楽しい授業をよろしくお願いいたします。

以上です。

○谷元職務代理人 はい。ほかに質疑はございませんか。

近藤委員。

○近藤委員 このように毎年実施される全国学力調査ですけれども、同一集団の経年比較ではないものの経年分析から学校の取り組みの状況は把握できると考えます。その分析結果を踏まえて、教育委員会事務局としては、どのように学校をサポートしていくお考えかお教えてください。

○谷元職務代理人 吉川教育指導課長。

○吉川教育指導課長 ご指摘いただきましたとおり、経年比較から学校全体としての状況は把握できるものと考えています。各学校には経年分析するためのツールを配布しているため、自校の状況を経年で分析することができます。教育委員会としても各学校の経年の状況を把握しているため、その状況を基に学校ヒアリングや授業参観等を通して、必要に応じた指導助言を引き続き行ってまいります。

○谷元職務代理人 近藤委員。

○近藤委員 ありがとうございます。今、課長のほうからご報告いただいたとおりで経年分析するためのツールを各学校に配布していただいているということで、ぜひ、その有効活用をさらに進めていただくよう、よろしくお願いいたします。

以上です。

○谷元職務代理人 ほかに質疑はございませんか。

これをもって、質疑を終結します。

以上をもって、報告第47号の聴取を終結します。

続きまして、日程5、報告第45号「委員会の会議に付した事項の報告について（1）生徒指導について（令和6年3月26日報告分①）」を議題としたいと思いますが、本件及び次の日程

6、報告第 46 号「委員会の会議に付した事項の報告について（1）生徒指導について（令和 6 年 3 月 26 日報告分②）」につきましては、枚方市情報公開条例第 5 条第 1 号、第 6 号及び 7 号に該当する非公開情報が含まれておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項の規定に基づき、会議を公開しないこととしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○谷元職務代理者 ご異議なしと認めます。それでは、報告第 45 号及び報告第 46 号については非公開といたします。

以降は非公開となりますので、傍聴の方は退席してください。

（ここから非公開部分）

（ここまで非公開部分）

○谷元職務代理者

ただいまから定例会を公開いたします。

以上、本定例会に附議された案件は全て議了しました。

これをもって、令和 6 年第 9 回枚方市教育委員会定例会を閉会いたします。

署名欄

_____(教育長職務代理者) 谷元 紀之_____

_____(教育委員) 近藤 孝_____